

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 1 - 16
作成年月日 H24. 7. 23
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 水道仕切弁等整備事業

事業開始年度 平成21年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成30年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 簡易水道事業特別会計 款 総務費 項 総務管理費 目 施設管理費

担当課 上下水道課 担当係名 水道施設係 調書作成者職氏名 課長 安藤 晃

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 25

分類	コード	名称
基本目標	1	安心して暮らせる“まちづくり”
施策項目	4	上下水道の整備
単位施策	1	水道事業

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 簡易水道区域内住民
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 現在、興部・沙留両地区において仕切弁などが経年劣化により、錆・瘤などの発生により開閉時の障害が出ている。このことから、取り替え及び新設される弁栓については材質の異なる弁栓を設置し、今後の漏水事故・断水時の早急な対応に備えるものであります。
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 新設弁栓の使用により効果的な維持管理が図られ、断水時の早急な対応と広域被害の防止を図るものである。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	0	1,680	2,394	2,457	2,709	9,240
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			1,680	2,394	2,457	2,709	9,240

Ⅳ. 担当課による事務事業の評価

区 分		チェック項目の説明（内容）等	
1. 実施の妥当性	(1) 町の政策的な事業である。		弁栓の経年劣化に伴い、錆・瘤の付着しない材質の仕切弁等を使用することにより、断水時の緊急対応並びに閉栓不足による広域断水防止に繋がるものである。
	(2) 公共性が高い事業である。		
	(3) 緊急性が高い事業である。		
	(4) 法令等により実施が義務付けられている。		
	(5) その他 【具体的に記載】		
2. 経済性・効率性	(1) 費用に見合う効果がある。		補助メニューなし
	(2) コスト削減の余地がある。		
	(3) 受益者負担の余地がある。		
	(4) 補助制度等活用の可能性がある。		
	(5) その他 【具体的に記載】		
3. 必要性	(1) 町民のニーズがある。（高い）		不測の事態（漏水・断水）の措置として、弁栓開閉の作業が伴う、これまで錆・瘤による開閉障害が発生している。新規弁栓使用によりスムーズな開閉作業が行われと共に錆・瘤の発生も抑制されることから、新規設置が必要である。
	(2) 事業を継続する必要がある。		
	(3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。		
	(4) その他 【具体的に記載】		
4. 代替性	(1) 行政主体による実施が適当である。		水道事業者による実施が適当であると判断する。
	(2) 民間委託等による実施が可能である。		
	(3) 住民協働（主体）による実施が可能である。		
	(4) その他 【具体的に記載】		
5. 事業の達成度	(1) 期待どおりの成果があがっている。		平成21年度より実施しているが、漏水事故等においてこれまで閉栓ができず苦慮していたが、取替えが終了している区域での作業はスムーズに進み、短時間で補修・修繕が可能になっている。
	(2) 概ね期待どおりの成果があがっている。		
	(3) 成果が不十分である。		
	(4) 事業の見直し等が必要である。		
	(5) その他 【具体的に記載】		

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	現在布設されている弁尖は、経年劣化により維持管理に支障が出ている。新規弁栓使用により断水事故時のスムーズな対応、補修作業の時間短縮など改善が図られることから継続と判断する。
二 次 評 価		二次評価該当外

Ⅵ. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

Ⅶ. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

- ☆ 評 価
- (1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの

(2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの

(3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの

(4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

(5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了

(6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止

(7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの